

農芸同窓会会報

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

地域社会での活躍を称える



同窓会会長 大泉 源之
(河高第五回・昭和二十八年卒)

同窓会員の皆様には
ご健勝の事とお喜び申
し上げます。平素は本
会の運営に対し、格別

のご理解とご協力を戴
き厚くお礼申し上げます。
さて、在校生の皆さんは文化スポーツ両面で活躍しています。着物コンテストでは、優秀賞(近畿経済産業局

以前より続けていま
す生徒の地域への奉仕
活動では、近くの河原
田小学校の児童に実習
田で田植への指導を
し、十二月には収穫し
たもち米で、餅つき会
を開いて交流を深めま

した。又、地域社会に
出向き料理教室を開
催。
恒例になってきてい
ます「みのりの丘マー
ケット」では農産物、
花苗や生徒の開発した
菓子などの販売が好評
であり、生徒の生きた
学習の場として継続が
望まれます。

同窓生には地域でご
活躍の方が多くみえま
す。地方自治の為、技
能の指導の為に永年貢
献されて、叙勲を受賞
された方、産業の振興
人材の育成の功績で、
県民功労賞を受けられ
た方他など多くみえま
す。また地域におかれ

まして、自治会や各種
産業組合の中心となっ
てその発展に努力され
ている会員に敬意を表
したいと思えます。
一方スポーツ面でご
活躍の一部の方のご紹
介をします。代表的な
のがラグビーフット
ボールOBの皆さん
で、実業団で活躍中の
私の知る範囲ですが本
田技研鈴鹿に2名所属
し、その一人後藤駿弥
さんは同じOBで豊田
自動織機に所属する坂
井克行さんと、来年の
リオで開催の7人制の
ラグビーフットボール
の日本代表選手として
出場します。この文面

を借りお知らせすると
共に、お二人にご声援
をお願いいたします。
以前よりご支援を戴
いてきましたラグビー
フットボール部です
が、今年県代表になる
ことが出来ず残念でし
たが再度三重の代表と
なることを期待したい
と思えますし、その節
にはご支援をお願いします。
終わりにあたり母校
の発展と寒さに向かう
折、会員の皆様のご健
勝をお祈り申し上げご
挨拶とします。

農芸生のさらなる飛躍を期待して



校長 辻 修一

今年も押し詰まって
まいりましたが、同窓
会員の皆様におかれま
しては、お元気でご活
躍のこととお喜び申し
上げます。
平素は、本校教育活
動に対し、物心両面か

らのご支援を賜り、厚
く御礼申し上げます。
「何事にも前向きに、
一生懸命頑張る農芸
生」、今年も農芸生は、
様々な分野にチャレン
ジし、大きな成果を挙
げました。詳細は、別
稿に譲りますが、ここ
では、特に目覚ましい
快挙をいくつかご紹介
したいと思えます。

まず、農業学科です
が、毎日農業記録賞で、
優秀賞を受賞しました。
これは、全国920編
の作文の中から、上位
10編に選ばれたもの
で、県内高校からは初
という、大変な快挙で
す。また、10月末に伊
勢市で開催された全国
産業教育フェア三重大
会でも、本校の生徒は、
展示、即売、大会運営
など様々な役割を担
い、大いに頑張ってい
ただきました。中
でも全国高校生フラワー
アレンジメントコンテ

ストでは、出場した2
人が審査員奨励賞をダ
ブル受賞するという活
躍を見せてくれました。
次に、家庭学科です
が、家庭クラブ全国大
会スクールプロジェクト
の部で、全国第3
位に当たる北海道教
育委員会賞に輝きまし
た。また、きもの作品
コンテストでは、近畿
経済産業局長賞を受賞
し、ここ数年連続の快
挙となりました。

部活動の面でも、高
校総体や各競技の大会
において、県内上位入
賞を遂げたり、東海大
会へ駒を進めたりと、
数多くのクラブの皆さ
んが気を吐いてくれま
した。ただ、少し残念
だったことは、25年連
続県大会決勝進出のラ
グビー部が、今のチー
ムの皆さんの奮闘にも
かわからず、準決勝で
敗れてしまい、記録が
途絶えてしまったこと
です。来年からは、新
入生を迎えて、心機一
転、再び頂点を奪回す
べく、頑張ってほしい
と思えます。

これら以外にも、資
格取得、地域交流、学
校行事など、多方面で
の頑張りが本場に目
立った一年でした。こ
れからも、生徒一人ひ
とりを大切に、農芸生
がさらなる飛躍を遂げ
るよう、教職員一同全
力で取り組んでいく所
存です。同窓会の皆様
におかれましては、引
き続きご支援、ご指導
を賜りますよう、よろ
しくお願い申し上げま
す。



▼雨の中、大盛況の第67回農芸祭
▲交通安全活動推進モデル校 (H27.7.14~12.10)
全校生徒で「事故ゼロ」の決意を人文字で表す (H27.9.30)

喜寿を迎えての同窓会

同窓会幹事一同
(高校第九回・昭和三十二年卒)

何度訪れても素晴らしい紅葉の名所湯の山温泉「希望荘」で十月二十日に昭和三十二年卒業の同窓会を開催しました。参加者は男女合わせて二十二名でちよつと寂しい気はしましたが、ご返事のハガキには、いろんな行事と重なって参加出来ないとか体調不安など年齢相応にそれぞれ理由があるようです。思えば私たちも今年で喜寿を迎えました。

さて、当日のオープニングは女性の指揮、男性のアコordeon伴奏により参加者全員で校歌を合唱しました。ふり返れば高校時代のクラブ活動に音楽部があり当時の活躍したメンバーのひとり元気の伴奏でとても素晴らしいオープニングになりました。私たちの年代になりますと中学、高校の同窓会をはじめ元職場の懇親会、自治会活動や老人会、趣味の会など多数の団体から参加呼び掛けがありますが、高校三年



間苦楽を共に過ごした仲間との会が一番楽しく有意義に感じます。この気持ちをいつまでも大事にしたいものです。最近阿蘇山の噴火がテレビや新聞で報道されました。私たちの修学旅行は九州別府温泉地獄めぐりや阿蘇山火口周辺の散策でした。その阿蘇山噴火のことが同窓会で話題になり今から五十九年前の修

学旅行を思い出す能力があれば当分認知症の心配はないと大笑いしました。また当時学校内高台にあった寄宿舎に三年間入寮して勉学に励んだ南牟婁郡紀宝町に在住(みかん栽培)の方も元気な姿で参加され故郷の方言で話すことばにとても親しみを感じました。いろいろ話題は尽きませんでした。最後に同窓会幹事から残された人生の今日という一日を大切に、楽しく生きて今後傘寿、米寿にもこの会を開催しようとのことばで締めくくり、別れを惜しみつつ散会しました。



横山 義之
(高校十二回・昭和三十五年卒)

蓋授褒章授与にあたって

農芸高校を卒業して55年ほどになります。その間にはサラリーマンを20年、38歳の時に事業を起こしました。株主会社を5つ、九州から東京まで波乱万丈の事業展開の最中、平成2年に保護司を拝命しました。保護司歴25年という事になります。

はたして小職が本当に授与に値する仕事をしてきたのかと考える事になりました。中国の故事に「回顧する年月は白駒の間の一瞬である」とありますように保護司を拝命してからの25年間を振り返ると白駒が戸の間を駆け抜けていく一

瞬を見たような気がします。刑期を終えた人たちの更生をするための指導者としてではなく、対象者の生き方を見ながら反面教師のように、しゃにむに突き進む自分を見つめながら鍛えられたように思われなりません。先日、東京新宿のホテルにおいて全国の仲間が祝賀会を盛大に催してくれました。改めて思う事は大勢の人の助けがあつて今日があることをしみじみ感じることです。

小職にとつて、まだやるべきことが多く、振り返って人生を眺める余裕はまだありません。ただこの機会に残された人生の終焉をいかに

代でありました。私も一人息子でありましたので農業をやつておりましたが半年程で市内に進出した輸送機器の会社に就職し学業とはかけ離れた仕事に就きました。家庭も持ち平々なサラリーマンの生活を送つておりましたが係長の時、大きな転機がおとずれ組織内議員に擁立されました。三十七歳から六十九歳まで八期三十二年に渡り鈴鹿市議会に籍を置きました。

私達の高校三十五年三と記憶しております。男性が七割であり現在の女性七割とは正反對でした。当時の在校生は農業関連の後継者が殆どでありましたが、卒業の頃から日本の高度経済成長が始まり、より豊かさを求めて将来設計が大きく変わりました。

その間議長を始めとする多くの要職を経験させて頂き先輩・友人等々、多くの方々にご支援を頂いた事に心か

市川 義高
(高校第十二回・昭和三十五年卒)

同窓会での思い出



ら感謝を致しております。その様な経緯があつて私は高校の同窓会の幹事は始めてでありました。

さて同窓会でありますが受付にて用意した名簿資料と共に同窓会の理事会で頂いた在校生の活躍の様子を紹介した冊子を配布致しました。久々に校歌を合唱した後に故人への黙祷をささげました。

一八四名の仲間の内この二年間で亡くなられた人が五名おられ遂に四〇名と成り一クラス分欠けてしまいました。これからこんな調子で減っていくのかと思うとさみしい思いでございます。しかし食事に懇談会に入るとお互いの現状生活を中心に会話に花が咲き、カラオケの準備も致しましたが余り歌う人も多くは無くアツと言う間に時が過ぎ次回の幹事様の挨拶で宴を閉じました。

朝から雨が降り心配していた天気もバスにてなばなの里のイルミネーションを鑑賞する時にはすっかり上がつてくれ、お陰様でゆっくり見学する事が出来ました。二年後は又皆さん元

気がお会い出来る事を祈りながらお別れを致しました。

平成27年2月26日(木) 長島温泉 ガーデンホテルオリーブ



農芸高校を卒業して

市川 晃

(高校第三十五回・昭和五十八年卒)

私は現在五十一歳。高校を卒業し県の農業大学校を経て家業の茶農家に就農しました。

将来の夢があったわけでもなく茶農家の長男として生まれたことで家業を継ぐのだと農芸高校に入学したことで、ぼんやりと将来を感じていました。二十歳になり農業大学校を卒業して就農はしたものの、すぐにやる気がでるわけでもなく親の

勧めで茶農家の長男として生まれたこと、家業を継ぐのだと農芸高校に入学したことで、ぼんやりと将来を感じていました。二十歳になり農業大学校を卒業して就農はしたものの、すぐにやる気がでるわけでもなく親の

近況報告

(高校第六十一回・平成二十二年卒)

加藤 南美



四日市農芸高等学校を卒業してから、6年近くの月日が流れました。

現在は、昔の私じゃ想像もつかないような職につき毎日を過ごしています。

現在私は、カンボジア王国で支援を行う、国際協力団体の代表を

ありましたから、この方向への就職も考え両親に相談したこともありましたが、父を亡くした悲しみもありましたが、明日からの生活、また家業である茶栽培や茶製造など、これから先のこと

が押し掛かり不安でありませんでした。まずは家業の茶農家をやっていかなければなりません。多くの人の助けや教えをいただき一年一年を必死で茶業に取り組みました。

好き嫌いではなく目の前の仕事を覚え身にすむ孤児院の子ども達でした。彼らに出会った時に「どうしても彼らとともに生きていきたい」「何かに苦しむ子ども達をこれ以上この国に増やしたくない」という一心で、就職をやめ短大卒業と同時に国際協力NGO団体を立ち上げ現在の活動に至りました。

現在はカンボジア農村部の貧困層の女性を対象に、技術提供と職業訓練を行い貧困からの脱却を目指す自立支援を行っております。約20名のチームの中で日本人は私のみという異色の体制で行っているプロジェクトですが、文化や習慣も違う現地メンバーとともに学び合っている日々活動を行っています。

もともと私は、某有

付けていくことが必要でした。必死に仕事をする中で充実感や達成感が生まれ、いつしか茶業の楽しさを感じていました。すると目標や夢ができ、それを叶えるための方法や準備が必要になり、ひとつひとつの実践が目標の実現につながっていききました。年齢的に若くして経営をすることになり失敗もありました。

現在、茶業界、いや農業全体が低迷している時代かもしれませんが、そこにチャンスがあると信じています。これまでの茶業の仕事と異なり、また違った方法や方向があると思っています。茶には長い伝統や文化があります。

農業でもある茶栽培や茶畑には、たくさん魅力があり茶産地である三重県には多くの発信できることがあると考えています。



名高級ブランドショップの店員になることが夢だったので、当時の私からしてみたら、まさか自分が年間の半分をカンボジアで生活するなどと考えてもいなかったし、国際協力活動を行って夢にも思っていなかったです。ですがどれだけ遠い国で離れて生活しているとしても、心から活動を応援してくれている農芸生の友人がいて、私が高校の頃に一番学ばせて頂いた

標が生まれ、自分のやるべきことが見えてくるように思えます。私には、まだまだ夢があります。

現在、茶業界、いや農業全体が低迷している時代かもしれませんが、そこにチャンスがあると信じています。これまでの茶業の仕事と異なり、また違った方法や方向があると思っています。茶には長い伝統や文化があります。

農業でもある茶栽培や茶畑には、たくさん魅力があり茶産地である三重県には多くの発信できることがあると考えています。

てよかったと思っています。「頑張ることは恥ずかしくないこと。素晴らしいこと。」という学びは今でも私の人生に大きく生きています。現地の人々と仕事をすることは、とても素晴らしい時間であると共に、沢山の困難が立ちまわります。ですが私が人目にも気にせず、がむしゃらになつて自分の信念を貫き活動ができるのは、農芸高校で学んだ「頑張ること」は素晴らしい美しいこと、ということを知っているからだと思っています。

人生にとって大切な学びと一生の友人をくれた農芸高校での思い出は、私にとって一生の宝です。農芸高校と高校時代の友人、そして恩師の先生方に改めてお礼申し上げます。

私ひとりの茶農家ができることは小さなことかもしれませんが、夢を持ち目標を持って一歩一歩叶えていくことで新たな何かが始まる気がしています。今年四月からは長男が就農することになります。三十一年前に私が感じたことを思い出し父親として息子にどう継がせていくのか。また彼に自分の夢を持たせられるようにしていくことが私の新たな課題でもあります。しかしながら、まだ私には夢があります。すぐに継がせるわけにはいきませんが、笑

私は農芸高校を卒業できたことを心から誇りに思っています。ありがとうございます。2009年度 生活文化科食物コース卒業生 現・国際協力NGO NATURAL VALUE代表 www.naturalvalue.org

私は農芸高校を卒業できたことを心から誇りに思っています。ありがとうございます。2009年度 生活文化科食物コース卒業生 現・国際協力NGO NATURAL VALUE代表 www.naturalvalue.org

私は農芸高校を卒業できたことを心から誇りに思っています。ありがとうございます。2009年度 生活文化科食物コース卒業生 現・国際協力NGO NATURAL VALUE代表 www.naturalvalue.org

- 平成二十七年春の叙勲
 - 旭日小綬章 市川義高様 (高校第十二回・昭和三十五年一般農学科卒業) (元鈴鹿市議会議長) 長年にわたる地方自治功勞により授与されました おめでとございます
 - 平成二十七年春の叙勲
 - 旭日単光章 安藤利正様 (高校第八回・昭和三十一年畜産科卒業) (元亀山市農業委員会会長) 長年にわたる農業振興功勞により授与されました おめでとございます
 - 平成二十五年春の叙勲
 - 瑞宝単光章 島田勝好様 (高校第十五回・昭和三十八年園芸科卒業) (元熊野市消防団分団長) 長年にわたる消防功勞により授与されました おめでとございます
 - 平成二十七年春の褒章
 - 藍綬褒章 横山義之様 (高校第十二回・昭和三十五年一般農学科卒業) (現保護司) 長年にわたる更生保護功績により授与されました おめでとございます
 - 平成二十六年
 - 四日市市産業功勞者表彰 加藤隆雄様 (高校第十四回・昭和三十七年一般農学科卒業) (分野・農業(観葉植物專業農家)として表彰されました おめでとございます

進路指導部より

進路指導主事 野田 学

同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年度(平成26年度)卒業生の進路状況について簡単に報告申し上げます。就職斡旋の職業別では生産工程・労務の職業に74名、サービスの職業に31名、販売の職業に17名、事務的職業に5名、農業など専門の職業に4名でした。その他、自営や公務員なども含めて、例年と同様生徒の約60%にあたる140名が就職しました。進学では四年制大学に18名、短期大学に21名、専門学校等に57名という結果でした。求人数の増加にも助けられ、また同窓会員の皆様のお力添えもあり昨年度におきましても、就職希望者の全員を内定させることができましたことに対し、改めて御礼申し上げます。今年度におきましても637名の求人数(10月末)をいただきました。これは昨年度の求人数より3割以上増加している状況であり、お陰様で就職希望

者全員の内に定に目途が立っております。ただし、募集の職種は介護やサービス、運輸、土木建設などが多く、またかつての指定校制の求人はほとんどなく、他校との競争求人が多くなったため、生徒にはしっかりととした準備を求めています。また昨年度は三重大学への進学者は出すことはできませんでしたが、高校で学んだ専門性をさらに深めるような栄養系・環境系へ、また部活動の実績を生かしたスポーツ推薦などで進学しました。今年度におきましても同様の状況です。短大や専門学校などへの進学は、少子化の影響でほとんど不合格者が出ない状況だけに慎重な学校選びが求められています。最後に、2年生のインターンシップは今年も1月末に実施されます。同窓会員の皆様にはどうか生徒の進路保障に向けたご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

学習面での取り組みや生徒たちの活躍から

【農業学科】

- <平成27年度 農業クラブ意見発表 東海ブロック大会>
優秀賞(食料・生産) 2年 門脇 拓矢「カドワキ牛のブランド化を目指して」
- <平成27年度 農業クラブプロジェクト発表 東海ブロック大会>
優秀賞(環境) 自然環境コース 3年 松岡秀二他8名「Roots」
- <平成27年度 第1回ガーデニング甲子園2015>
特別賞(全国3位) 2年 藤本 モナ、柳川 慧悟 3年 井上 拓海、清水 弥春
- <平成27年度 第66回日本学校農業クラブ全国大会 群馬大会>
農業鑑定競技 優秀賞(区分・食品科学) 3年 辻 実里
優秀賞(区分・造園) 3年 樋口 智哉
- <平成27年度 第43回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催・農林水産省他後援、JA全中協賛)>
高校生部門 全国 優秀賞(全国トップ10) 3年 生川 友亮
「『生川先生』と呼ばれるその日を目指して」
高校生部門 全国 優良賞 3年 上村 華「農業で学んだこと」
- <平成27年度 第53回 技能五輪 全国大会 出場>
造園職種 3年 青木 鴻太
- <平成27年度 全国産業教育フェア 全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト>
審査員奨励賞 3年 高野 妃主、市川 夏海
- <平成27年度 専門高校生徒の研究文・作文コンクール>
全国優秀賞(全国2位) 3年 清水 弥春「造園に魅せられて」

【家庭学科】

- <平成27年度 第26回きもの作品コンテスト>
優秀賞(近畿経済産業局長賞)
3年 萩 早和子「マーメイド」
- <平成27年度 家庭クラブ研究発表 全国大会>
スクールプロジェクト 北海道教育委員会賞(全国3位)
全国高等学校長協会家庭部会賞
全国高等学校家庭クラブ連盟賞
テーマ:「FUTURE SUPPORT
～安全確保!!農芸生いざ出勤!!～」



最近の部活動等における実績

- <平成27年度 三重県高校総合体育大会>
2位 柔道女子 体重別 3年 佐藤 岬海(東海総体出場)
2位 女子 山岳部(東海総体出場)
3位 男子 バスケ部(東海総体出場)
- <第62回 NHK杯 全国高校放送コンテスト 三重県大会>
優秀賞 放送部 テレビドキュメント部門
「挑戦 ～技能五輪の表彰台へ～」(全国大会出場)
- <第39回 全国高等学校総合文化祭 滋賀びわこ総文 ビデオメッセージ・朗読部門>
2年 平川 恭平「つなぐ想い ～富田のけんか祭り～」(全国大会出場)
- <第37回東海地区高校商業実務総合競技大会三重県予選>
英文ワープロ団体の部 第6位 情報処理部(東海大会出場)

祝

【7人制ラグビー】
リオデジャネイロ五輪 出場決定
おめでとう

- 7人制男子日本代表メンバー
ラグビー部OB
坂井克行さん
(高校第五十九回・平成十九年卒)
- (豊田自動織機)
- 後藤駿弥さん
(高校第六十回・平成二十年卒)
- (ホンダ)

【御礼】
高校 第三十一回(昭和五十四年三月)卒業の同窓生の皆さま方が、学年同窓会を開催され、母校同窓会活動に役立てるようにと、ご寄付をいただきました。紹介させていただきます。厚く御礼申し上げます。

事務局からのお知らせ

◆ 会員、旧職員の皆様へご連絡とお願い ◆

☆改名、転居などにより、氏名・住所・連絡先等が変更になりましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。同封の【異動通知連絡ハガキ】をご利用ください。お預かりする個人情報、厳正に同窓会事務局で管理を行い会報発送等に使用いたします。ご協力をお願い致します。
☆同窓会又は同窓会事務局の名を騙って、電話等により会員の情報を聞き出そうとする事案が発生しております。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんのでご注意ください。

◆ 会員のみなさまより会報の原稿を募集しております ◆

同窓生の皆様より、会報原稿をお寄せ頂いております。次号会報、原稿も募集しております。会員唯一の情報機関誌へ会員みなさまの「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をぜひお寄せ下さい。
(次号会報の原稿締切は、平成28年9月末日です。ぜひ事務局まで。)

= 農産物(実習製品) 販売所のご案内 = ～ぜひ!ご利用ください～

農芸高校では、生徒の実習成果による農産物(実習製品)を校内で販売しております。(季節によって、新米、野菜、卵、草花、観葉植物、ジャム類、クッキー、味噌など)
販売場所: 農業理科棟(新館) 1階中央の販売所
販売日時: 毎週月曜日と木曜日(午後2時～4時まで)
*学校行事等で休みとなる場合もありますので、お越しの際は、学校ホームページまたは、学校までお問い合わせください。

三重県立四日市農芸高等学校 同窓会事務局

〒510-0874 四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021(代)
FAX 059-345-6996

四日市農芸高校は、ISO14001 認証取得校です。
全校挙げて、環境活動・環境教育に取り組んでおります。